

経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県 可児市

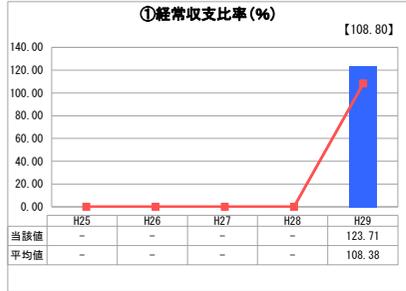
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 ³ 当たり家庭料金(円)
-	52.70	89.83	92.08	3,207

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
101,566	87.57	1,159.83
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
90,993	25.76	3,532.34

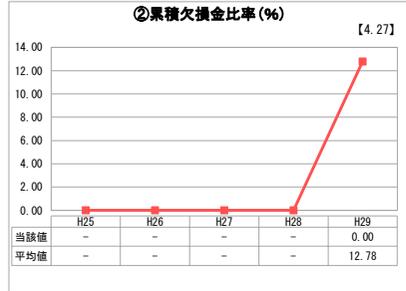
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

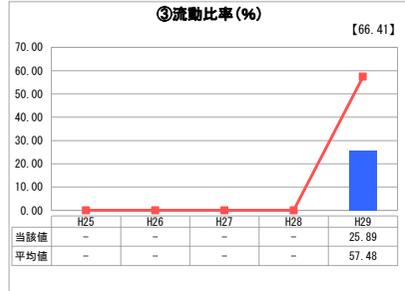
1. 経営の健全性・効率性



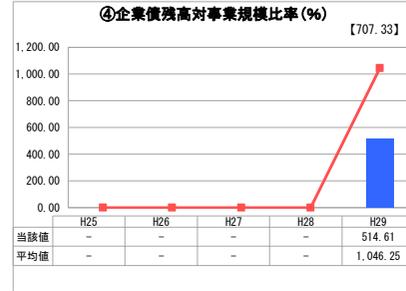
「経常損益」



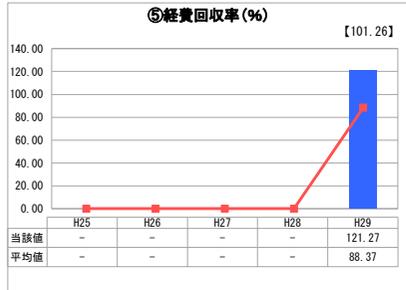
「累積欠損」



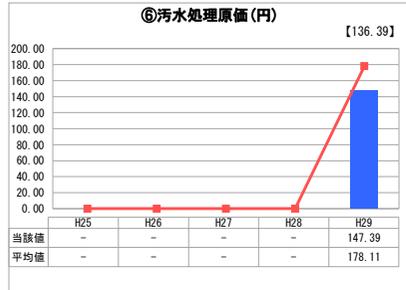
「支払能力」



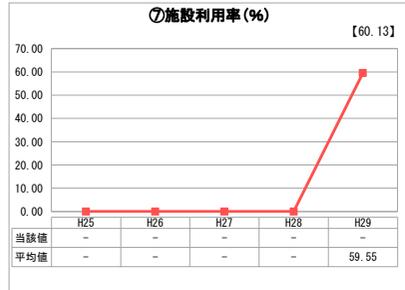
「債務残高」



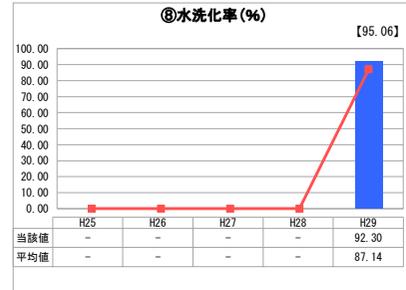
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

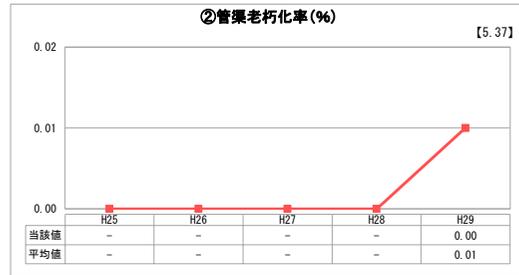


「使用料対象の捕捉」

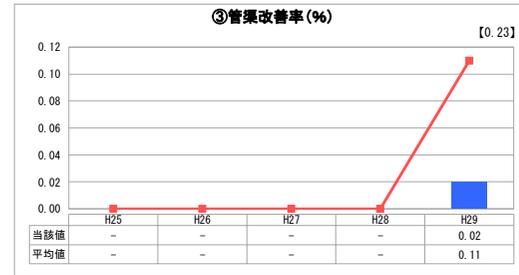
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は123.71%、経費回収率が121.27%と100%を上回り、汚水処理原価も147.39円と類似団体平均と比較すると下回っており、効率的な経営を行っていると言える。

流動比率は、25.89%と類似団体平均と比較して著しく低い数値となっているが、これは特別会計からの引継金が少なく、流動資産である現金が少ないためである。

企業債残高対事業規模比率は、514.61%と類似団体平均の半分程度となっているが、事業開始時に起債した企業債の元金償還が進んだ結果と言える。

水洗化率は92.30%で類似団体平均を上回っているが、全国平均以下であるので、未接続世帯の解消が課題である。

これらの経営指標から経営の健全性・効率性は高いと言えるが、今後も経常的な費用の抑制により維持していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

平成28年度より長寿命化計画に基づくマンホール蓋及びマンホールポンプの更新を行っている。平成32年まで継続して行う予定であるが、その後は管渠の更新を行う予定である。

管渠改善率が0.02%と低いのは、管渠が比較的新しく、マンホールポンプ等の更新を先行して行っているためである。管渠の大規模更新に着手すれば上昇していく見込みであるが、その更新に必要な財源を確保していく必要がある。

全体総括

本市は、平成29年度より地方公営企業法を適用し、法適用初めての決算となる。初年度は、前年度の特別会計より引き継いだ特例的収入支出を加えているため、その影響を受けている経営指標もある。

経営指標は全国平均と比較すると概ね良好な数値と言えるが、流動比率等低い指標もある。今後は、更新計画やストックマネジメント計画を活用して、より効果的・効率的な経営を進めていくことが課題である。

(参考：特例的収入支出を除いた指標)
 経常収支比率 123.48%
 流動比率 23.78%
 企業債残高対事業規模比率 760.67%
 経費回収率 120.43%
 汚水処理原価 128.36円

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。